大阪府バスケットボール協会審判委員長殿

令和4年12月30日

大阪ミニバスケットボール連盟審判員　　木村 裕也

第 75 回全国高等学校バスケットボール選手権大会
参　加　報　告　書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名 ●日程 ●会場	SoftBank ウインターカップ2022 令和4年度 第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会 令和4年12月23日　（金）　～　令和4年12月29日　（木） 東京体育館・大田区総合体育館						
●講師	なし						
●スケジュール	令和4年12月23日　（金）						
	開講式なし 各自割当時間に合わせ集合 09:15 PGC 10:25 コートイン 10:40 試合開始						
●担当試合	令和4年12月23日　（金）　10:40 ～						
	対戦カード	柴田学園大学附属柴田学園高等学校(青森)　VS　県立徳山商工高等学校(山口)					
	主審	CC	前田氏(愛媛)	U1	木村	U2	笹氏(東京)
	講師／主任	主任 谷古宇氏（東京）					
	講評	・青のDFの時の手の使い方をもう少し整理する必要があった ・バックパスが成立してるかどうか、SCギリギリのショットはどうだったかなど、 一つ一つ丁寧に判断してほしい ・シングルコールになっているケースで、二人が鳴ってもいいケースが あったのではないか 基本的にはシングルでもいいが、セカンダリとしてプレーにコネクトできているか どうかが伝わってきづらい ・センターのポジションアジャストに工夫が必要 センターサイドのドライブは最後までアングルを手放さないように、 身体の向きを変えながらコネクトし続ける						
	自己の感想	PGCでは、各々が事前に各県の予選の映像から分析したチームの情報を共有し、また、メカやPCの基本的な部分を共有した。丁寧にPGCをしてくださったので、初めてのクルーでも安心してゲームに入ることができた。 点差のつくゲームだったが、だからこそ丁寧なプレーコーリングが求められる場面があり、そこは課題であると感じた。また、クロックコントロールが必要な場面があったが冷静に対応でき、自分の強みを活かすことができたことはよかった。 映像を見返してみると、メカに崩れがあったり、IOTが疎かになった時に、判定の部分が弱くなってしまっていた。当たり前のメカやIOTをいつでも当たり前に実践することの大切さを強く感じた。						

<table>
<tr><td>●スケジュール</td><td colspan="7">令和4年12月24日　（土）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="7">開講式なし 各自割当時間に合わせ集合

13:45 PGC
15:25 コートイン
15:40 試合開始</td></tr>
<tr><td rowspan="5">●担当試合</td><td colspan="7">令和4年12月24日　（土）　15:40　～</td></tr>
<tr><td>対戦カード</td><td colspan="6">実践学園高等学校(東京)　VS　鳥取城北高等学校(鳥取)</td></tr>
<tr><td>主審</td><td>CC</td><td>塩谷氏(愛知)</td><td>U1</td><td>木村</td><td>U2</td><td>大川氏(千葉)</td><td></td></tr>
<tr><td>講師／主任</td><td colspan="6">なし</td></tr>
<tr><td>講評</td><td colspan="6">試合後にクルーでミーティングを行った

・コールしたものは正しかった。
・基本的にはシンプルにコツコツとコールしていくこと。
・イリーガルスクリーンはもう少し序盤で判定するチャンスがあった。
・手を使ったプレーを許しすぎていたのではないか。</td></tr>
<tr><td></td><td>自己の感想</td><td colspan="6">PGCでクルーとしてゲームフローやそれぞれの個人ファウルの回数を把握した上でコールしていきましょうという話をしていただき、インターバルでもクルーで情報を共有して進めていたが、そのことばかりを考えてしまい、見たままをシンプルにコールすることができない時間帯があった。しかし、直前にファウルをつけた選手が次にファウルをされたものを逃すことなくコールできた場面もあり、そこはよかった。見つけたものをコールするのではなく、ゲーム全体を考えながらコールしていくことに引き続き挑戦していきたいと思う。
最後になりましたが、お世話になったJBAの皆様、東京都の皆様、また、今大会に派遣していただいた大阪府審判委員会の皆様に感謝申し上げます。</td></tr>
</table>